様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	千葉敬愛短期大学
設置者名	学校法人千葉敬愛学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
	現代子ども学科	夜・通信			31	31	7	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
（備考）								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ(教育情報の公開)により、実務経験のある教員等による授業科目を公表する。http://www.chibakeiai.ac.jp/outline/joho/

本学ポータルサイト(Keiai campus navigator)にWebシラバスとして公表する。
https://kcn.u-keiai.ac.jp/up/faces/login/Com00505A.jsp
ゲストユーザーとしてログインすることで外部からも閲覧可能。
抽出は、シラバス照会→シラバス検索“キーワード”に「実務」と入力。

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	千葉敬愛短期大学
設置者名	学校法人千葉敬愛学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

ホームページで公表 https://gakuen.u-keiai.ac.jp/corporation/official/

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	研究員	2019 年 10 月～2023 年 9 月	法人運営･学校経営に関する助言
常勤	弁護士	2021 年 6 月～2025 年 5 月	法人運営･学校経営に関する助言
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	千葉敬愛短期大学
設置者名	学校法人千葉敬愛学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

教育課程(カリキュラム)に基づき、担当教員(コマ数)が決まり次第、毎年 11 月頃を目途に、各担当教員に授業計画(シラバス)作成の依頼を行っている。

シラバスの記載事項は、「授業のねらいと到達目標」「授業の進め方」「成績評価方法と割合」「評価基準」「教科書」「参考文献」「授業内容」「事前・事後学習」「アクティブ・ラーニング手法」で構成されており、年度当初の教務ガイダンスで全学生に配付し、説明を行っている。

また、大学ホームページへのシラバス掲載や学事システムからのシラバス照会が可能となっている。

授業計画書の公表方法	ホームページで公表。(KCN：ｹﾞｽﾄﾕｰｻﾞｰから照会可) https://kcn.u-keiai.ac.jp/up/faces/login/Com00505A.jsp

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

「成績評価方法と割合」と「評価基準」については、全ての科目について、授業計画(シラバス)に掲載している。また、各学期に定期試験を実施し、各科目の担当教員が厳格かつ適正に評価している。

各授業科目の“授業のねらい”と“到達目標”に沿って、定期試験、小テスト及びレポート等の課題提出などから、5 段階の評価基準に基づき、各科目の担当教員が厳格かつ適正に評価している。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 成績評価においては、ＧＰＡ制度を導入しており、授業計画(シラバス)の履修要項にも明記し、教務ガイダンス等で学生に周知を図っている。 ＧＰＡの指数設定としては、学生が履修した全科目の成績の平均を数値で表し、試験の得点に応じて５段階（4.0、3.0、2.0、1.0、0）の数値（グレード・ポイント）を設定する。そして、各履修科目のグレード・ポイントに、科目の単位数をかけた値を全履修科目分合算し、その値を全履修科目の単位数の合計で割ったものをＧＰＡ値としている。 本学では、ＧＰＡ値を活用し、学生の理解度を把握するとともに、進級の要件及び学生指導の資料など、きめ細かい指導を行っている。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	ホームページで公表。(シラバスの履修要項) http://www.chibakeiai.ac.jp/outline/joho/
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業の認定及び学位の授与については、学則及び授業計画(シラバス)の履修要項に明記し、公表している。卒業認定に当たっては、学則に則り、教授会の議を経て決定している。 本学は、卒業認定に関する方針(ディプロマポリシー)に沿って、「敬天愛人」（真理を敬い、他者を愛する心を培う）の理念を踏まえ、深い子ども理解と使命感を備えた教育者・保育者の育成を目的とし、所定の教育課程を修了した学生に対し卒業を認定する。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページで公表。 http://www.chibakeiai.ac.jp/outline/policy/

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	千葉敬愛短期大学
設置者名	学校法人千葉敬愛学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページで公表。https://gakuen.u-keiai.ac.jp/finance/
収支計算書又は損益計算書	ホームページで公表。https://gakuen.u-keiai.ac.jp/finance/
財産目録	ホームページで公表。https://gakuen.u-keiai.ac.jp/finance/
事業報告書	ホームページで公表。https://gakuen.u-keiai.ac.jp/finance/
監事による監査報告（書）	ホームページで公表。https://gakuen.u-keiai.ac.jp/finance/

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：	対象年度：　　）
公表方法：	
中長期計画（名称：	対象年度：　　）
公表方法：	

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：公表方法：ホームページで公表
http://www.chibakeiai.ac.jp/outline/appraisal/

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：ホームページで公表
http://www.chibakeiai.ac.jp/outline/appraisal/

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　現代子ども学科
教育研究上の目的 （公表方法：ホームページで公表。http://www.chibakeiai.ac.jp/outline/policy/）
（概要） 本学は、建学の精神である「敬天愛人」の理念に則り、一人一人の学生の尊厳を重んじ、可能性を引き出す教育を行うとともに、教育内容として“子ども”の発達の連続性及び教育と保育の関連性を重視した“子どもに関する総合的な学び”を標榜し、「敬天愛人」を自ら実践し得る、地域の初等教育・保育への使命感と奉仕の精神を持った人材の育成を教育の目的としている。
卒業の認定に関する方針 （公表方法：ホームページで公表。http://www.chibakeiai.ac.jp/outline/policy/）
（概要） 本学は、「敬天愛人」の理念を理解し、以下のような「使命感」「 総合的な子ども理解」「コミュニケーション・課題解決」の資質・能力を身につけ、所定の 教育課程を修了した学生に対し卒業を認定する。（「使命感」） ①保育者としての使命感をもち、子ども一人一人を敬愛し、常に向上しようとする意識を身につけている。 ②“子ども”の発達の連続性及び教育と保育の関連性を重視し、総合的な子ども理解ができる。（「総合的な子ども理解」） ③主体的かつ協働的なコミュニケーションや課題解決の能力を身につけている。 （「コミュニケーション・課題解決」）
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：ホームページで公表。http://www.chibakeiai.ac.jp/outline/policy/）
（概要） 本学は、卒業の認定に関する方針を達成するため、以下のような教育課程を編成する。カリキュラム編成にあたっては、幼稚園教諭二種免許及び保育士資格を、２年間で取得することができるように、免許・資格関連科目を配置する。 1.建学の精神に基づいたキャリア形成に関する必修科目や、事前・事後指導を充実させた教育・保育実習等を通して、保育者としての使命感をもち、常に向上しようとする保育者を育成する。 ２.“子ども”の発達の連続性及び教育と保育の関連性を重視して総合的な子ども理解のできる保育者を育成する。 ３.主体的かつ協働的に学ぶ環境を実現し、コミュニケーション能力や課題解決能力を身につけた保育者を育成する。
入学者の受入れに関する方針 （公表方法：ホームページで公表。http://www.chibakeiai.ac.jp/outline/policy/）
（概要） 保育の現場で活躍できる人材の育成を目指す本学は、以下のような人（入学者）を求める。 ①保育者を目指す明確な意思をもち、生活面・健康面での自己管理ができ、学び続けることのできる人 ②日頃より保育に関する事柄に広く関心をもち、子どもの成長・発達について理解を深めようとする態度をもっている人 ③対人関係能力に優れ、他者と協働し、思いやりをもって関わることができ、子どもたちと関わる能力を備える人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：　http://www.chibakeiai.ac.jp/outline/joho/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
現代子ども学科	2 人	―					2 人
	―	4 人	7 人	0 人	0 人	0 人	11 人
	―	人	人	人	人	人	人

b.教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0 人	35 人	35 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：ホームページで公表。 http://www.chibakeiai.ac.jp/education/teachers/

c.ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

FD 活動は規程に基づき委員会が組織され、教育･研究活動の改善に向けて取り組んでおり、SD 活動も規程を整備し業務改善へ積極的に取り組んでいる。

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a.入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員(a)	入学者数(b)	b/a	収容定員(c)	在学生数(d)	d/c	編入学定員	編入学者数
現代子ども学科	150 人	152 人	101.3%	300 人	277 人	92.3%	0 人	0 人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	150 人	152 人	101.3%	300 人	277 人	92.3%	0 人	0 人

（備考）

b.卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
現代子ども学科	160 人 (100%)	1 人 (0.6%)	154 人 (96.3%)	5 人 (3.1%)
	人 (100%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)
合計	160 人 (100%)	1 人 (0.6%)	154 人 (96.3%)	5 人 (3.1%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）
千葉県内公立小学校、公立保育所及び私立幼稚園など

（備考）

c.修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)
	人 (100%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)
合計	人 (100%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)
（備考）					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画については、授業計画(シラバス)及び履修系統図にて学生に明示している。
シラバスの記載事項は、「授業のねらいと到達目標(DP と当該授業科目との関連)」「授業の進め方」「成績評価方法と割合」「授業内活動についての評価基準」「教科書」「参考文献」「授業内容」「事前・事後学習」「アクティブ・ラーニング手法」で構成されており、年度当初の教務ガイダンスを通じて、全学生に説明を行っている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関しては、「千葉敬愛短期大学履修規程」及び「千葉敬愛短期大学 GPA 運用規程」に基づき、授業計画(シラバス) 内の履修要項にて学生に明示している。
「成績評価方法と割合」と「授業内活動についての評価基準」については、全ての科目について、授業計画(シラバス)に掲載している。また、各学期に定期試験を実施し、各科目の担当教員が厳格かつ適正に評価している。

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
	現代子ども学科	67 単位	有・無	48 単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法
：ホームページで公表　https://www.chibakeiai.ac.jp/examinee/campuslife/around/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
	現代子ども学科	680,000 円	300,000 円	281,000 円	施設費 216,000 円 教育充実費 15,000 円 実験実習費 50,000 円
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組

（概要）

学修支援に関しては、教務ガイダンスのほか、1年生には各クラス別にチューターを配置し、授業計画(シラバス)を参考に科目履修等の補助を行っている。
特に授業に関しては、各担当教員が直接的に行っており、学生の理解度を計るため、“レポート”や“小テスト”の活用など、様々な工夫を行っている。必要に応じて、クラス担任と担当教員が協力体制をはかり、学生を支援している。

b.進路選択に係る支援に関する取組

（概要）

進路選択に係る支援に関しては、学生が段階的に就職の準備に取り組めるように、キャリア支援科目の「キャリアデザインⅠ」をおき、キャリアデザインの基礎を培い、かつ1年後期以降は、保育所等の公立採用試験対策に特化した「キャリアデザインⅡ～Ⅵ」を設置している。また、入学時からガイダンスやセミナーなどの就職支援プログラムを用意し、学生の就職活動を全面的にサポートしている。

c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

（概要）

学生の心身の健康等に係る支援に関しては、保健室では、「応急処置」「健康相談」「健康診断」「保健指導」「その他の保健」に関する健康管理のサポートを行っている。
また、学生相談室では、学生が抱える様々な諸問題を解決するために、臨床心理士を配置し、個別の対応を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページで公表：https://www.chibakeiai.ac.jp/outline/joho/

（別紙）

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が 1 人以上 10 人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が 0 人の場合には、「0 人」と記載すること。

学校名	千葉敬愛短期大学
設置者名	学校法人　千葉敬愛学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		29 人	28 人	57 人
内訳	第Ⅰ区分	17 人	15 人	
	第Ⅱ区分	6 人	9 人	
	第Ⅲ区分	6 人	4 人	
家計急変による支援対象者（年間）				0 人
合計（年間）				57 人
（備考）				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0 人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0 人	0 人
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）	人	0 人	0 人
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0 人	0 人
「警告」の区分に連続して該当	人	0 人	0 人
計	人	0 人	0 人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0 人	後半期	0 人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0 人
３月以上の停学	0 人
年間計	0 人

（備考）

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	０人
訓告	０人
年間計	０人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）	人	０人	０人
ＧＰＡ等が下位４分の１	人	０人	０人
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況	人	０人	０人
計	人	０人	０人

（備考）

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは，日本産業規格Ａ４とする。